

安全・安心・快適な空間を新技術とデザインの融合で実現

「有馬きらり」・「有馬温泉 太閤の湯」が
『2019年度 耐震改修優秀建築賞』を受賞しました

阪急阪神第一ホテルグループの一員である株式会社有馬ビューホテル（神戸市北区有馬町池の尻 292 番 2 号 代表取締役社長 いりたに やすまさ 入谷 泰正）と株式会社竹中工務店は、2020 年 2 月 18 日（火）に、一般財団法人日本建築防災協会主催の 2019 年度耐震改修優秀建築・貢献者表彰において、「耐震改修優秀建築賞」を受賞いたしました。

当社では 1962 年の創業以来ご愛顧いただいている「有馬ビューホテルうらら」ならびに日帰り温浴施設「有馬温泉 太閤の湯」について、現行の建築基準法に相当する耐震性能を満たす為、2018 年 5 月より約 10 ヶ月間の大規模躯体耐震改修工事を終え、2019 年 4 月 1 日に、ホテルは新ブランド「有馬きらり」としてグランドリニューアルオープンし、同時に「有馬温泉 太閤の湯」は全面リフレッシュオープンしています。

今回の耐震改修工事は、ご来館されるお客様の安全・安心を担保するための、新耐震基準に相当する耐震性能を持つ建物に生まれ変わるのみならず、顧客満足度向上も併せて実現すべく、設計・施工を担当した竹中工務店保有の数々の特許工法（別添 ご参照）を活用し、ホテルの外観、客室、浴場、ダイニングを一新しました。

この耐震改修優秀建築賞は、一般的な工法だけでは難しかった耐震改修を鉄骨材や木材等を用いた複数の特許工法にてクリアし、意匠上の工夫を行うことで外観、客室等のデザインや顧客動線を損なうことなく、顧客満足度を向上させる優れた意匠となっていることが評価され、受賞しました。

「有馬きらり」はこれからも、安全・安心・快適な空間を提供すると共に新たなサービス・コンセプトにてお客様の滞在価値を一層高めたいと考えています。また「有馬温泉 太閤の湯」は有馬温泉の泉質の素晴らしさをさらに国内外に広めるとともに、お客様に最高の泉質とサービスで「健康増進」を提供し、ヘルスツーリズムを振興するため「日帰り温泉」から「日通い温泉」としてご利用いただけるよう、さまざまな角度から新しい提案を行ってまいります。



<受賞風景>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社有馬ビューホテル はぐり こうじ きもと ひさし まえだ ひでひろ 羽栗 浩司・木元 寿・前田 英洋
TEL:078-904-3117(直通) FAX:078-904-0993 E-mail:kimoto@arima-view.com

(別添)

■「鉄骨マンサードブレース接着工法」特許工法

西館の客室階は柱通りが少なく、耐震要素を設けることができる箇所が少ないことから、客室内の間口方向に耐震要素を設ける必要がありました。

ホテル客室としての眺望、採光を確保するために、従来のX型ブレースではなく、鉄骨マンサードブレースを客室部分と縁側部分の境界に配置し、鉄骨ブレース接着工法とすることで最大限の開口を確保し、採光を確保する計画でした。

また、改修を行う客室のデザインをマンサードブレースの形状を利用し、特徴的でモダンな和室空間へとリニューアルすることで、耐震補強とデザインを融合させた集客力のある客室を実現しました。他で類を見ない客室はご利用のお客様にも支持されています。

マンサードブレース設置位置

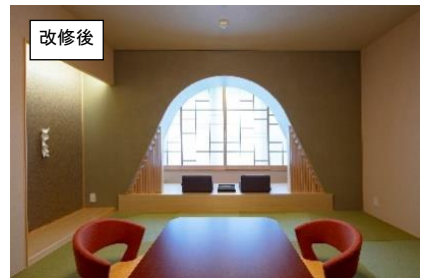
鉄骨マンサードブレース



改修前

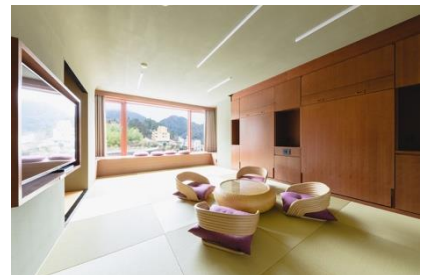
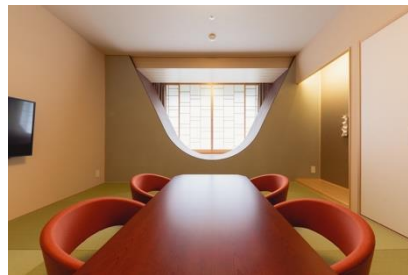
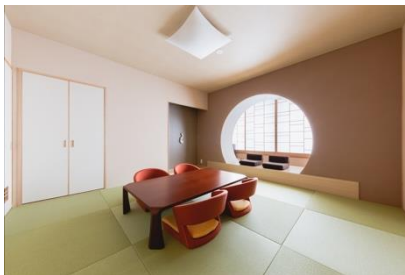


改修中



改修後

その他、耐震補強とデザインを融合させた客室



■「竹中耐震市松壁(接着工法)」特許工法

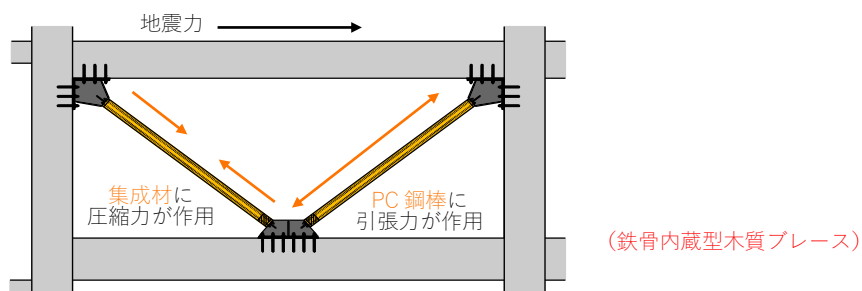
ホテルのエントランスホールにおいては、玄関に来館した宿泊客とフロント間の視線を遮らず、魅力的な空間を演出する為、開放的で美観に優れた鋼製の「竹中耐震市松壁(接着工法)」を採用。

市松壁はあらわしのデザインを採用し、コーナー溶接部は金属用パテで円弧上に成形し仕上げ、スタイリッシュモダンな和のデザインを実現しました。



■「鋼棒内蔵型木質ブレース」特許工法

湯上りの休憩スペースには、ぬくもりのある空間デザインに合わせて、「鋼棒内蔵型木質ブレース」をあらわしで採用しました。圧縮力を集成材で、引張力を PC 鋼棒で負担する、木と鉄の長所をうまく利用したブレースであり、木を使用することで環境負荷低減効果も期待できます。



■耐震補強壁をデザイン化

ホテル・リブランドに伴い、スタイリッシュ・モダンな外観デザインに一新し、外壁の耐震補強壁を「杉板本実（すぎいた・ほんざね）」型枠を用いたコンクリート打ち放しとしました。浮造り加工（木目の固い部分を残し、柔らかい部分をブラシで削ることにより木目の凹凸を強調し、木目の陰影が強調され表情が豊かになる加工技術）による杉板を型枠として使用することにより、無機質なコンクリート壁に天然木の生命感のある表情が加わり、モダン且つナチュラルな風合となりました。打ち放しのコンクリートとは対極にある見せ方で、高い施工技術とともに、高いコストが必要となる贅沢な技法と言えます。



(ご参考)

表彰の詳細や受賞者については以下をご参照ください。

2019年度耐震改修優秀建築・貢献者表彰 HP

<http://www.kenchiku-bosai.or.jp/hyousyou/kekka2019/>

※2018年度耐震改修優秀建築表彰はホテル旅館業界では

志摩観光ホテル ザ クラシック、ザ クラブが受賞されております。

2018年度耐震改修優秀建築・貢献者表彰 HP

<http://www.kenchiku-bosai.or.jp/hyousyou/過去の受賞建築物・貢献者/平成30年度 第8回/>

以上